

日本場面緘黙研究会

第1回研究大会 プログラム

2026 年 3 月 14 日(土)・15 日(日)

西南女学院大学

The 1st Conference of
Japanese Association of Selective Mutism
Seinan Jo Gakuin University, Fukuoka, Japan

会場案内図等より詳細な情報を含む「発表論文集」は 2 月下旬に
HP に掲載予定です。また参加者には会場受付にて配付します。
※最終的な情報は「発表論文集」と HP で必ずご確認ください。

目次

ご挨拶	2
大会日程.....	3
会場アクセス.....	4
大会参加者の皆様へ.....	6
口頭発表登壇者の皆様へ	9
大会プログラム.....	11
記念講演.....	12
理事会企画シンポジウム.....	13
教育講演.....	14
研究発表(口頭発表).....	15
後援・協賛団体	16

ご挨拶

ご挨拶

共同実行委員長 園山繁樹(西南女学院大学)

共同実行委員長 金原洋治(かねはら小児科)

日本場面緘黙研究会は2013年9月に設立され、以来念願していた第1回研究大会をまもなく開催できますこと、皆様のご協力に感謝しつつ共同実行委員長として誠に嬉しく思っております。

この挨拶文を書いている時点で150名余りの参加申込をいただいています。当日は200名を超す方が会場にいらっしゃることでしょう。また北海道や青森から、そして沖縄や鹿児島から、全国各地から参集されます。会員以外の方の申込みも多数あります。これらのことは私たちの予想を超えていて、共同実行委員長としてこれほど嬉しいことはありません。それほどに「場面緘黙」の研究情報に触れる機会と、関心を持つ方たちと直接語り合いたいとの想いをたくさんの方が持ち続けておられたことの証です。研究者だけでなく、教育・心理・医療・福祉・就労等々の支援専門職、ご家族、当事者の方と、お立場も様々です。

大会テーマは『英知を結集して』としました。場面緘黙の本態は、多様な症状の背景は、個に合った支援の方法は、医療・心理・教育・福祉・就労等々での支援体制のあり方は、誰もが幸せに生きることのできる社会のあり方は…たくさんの課題の解決に向けて、そして新たな課題を共有するために、皆様と共に英知を結集していきたいと願っています。そして大会後には、それぞれの持ち場に帰って、「場面緘黙」にこれまで以上の英知を持って取り組みたいと願っています。

今大会の会場は園山の勤務校である西南女学院大学様に無償でお貸しいただき、心から感謝申し上げます。西南女学院は米国宣教師によって基が据えられたミッションスクールで103年の歴史があります。大学は1994年に開学し、園山は1995年から2001年まで勤務していました。そして、昨年4月から再び教鞭を執っています。初代学長は小児科医の高木俊一郎先生(大阪教育大学名誉教授:1917-1999)で、園山の恩人です。先生の主著『小児精神医学の実際』(医学書院;1964)には広義の意味での「緘黙」の項があり(265~268頁)、その中に現在の場面緘黙に相当する記述があります。研究大会会場の最前列に座って、いの一番に手を挙げて質問される高木先生の幻を見つつ、皆様をお迎えするご挨拶とさせていただきます。

大会日程

第1日 3月14日(土)

9:00 ～ 受付開始

10:00 ～ 10:10 オープニングセッション(大会実行委員長挨拶)

10:10 ～ 11:30 記念講演

13:00 ～ 16:30 研究発表(口頭発表)

※18:00～ 懇親会(詳細は申込まれた方に別途ご連絡します。申込は終了しています。)

第2日 3月15日(日)

9:00 ～ 受付開始

10:00 ～ 11:30 理事会企画シンポジウム

13:00 ～ 14:00 教育講演 ①

14:15 ～ 15:15 教育講演 ②

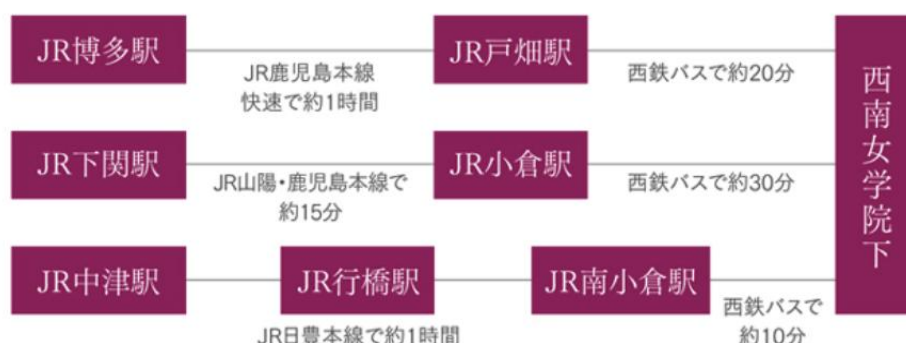
15:15 ～ 15:30 クロージングセッション(大会実行委員長挨拶)

9:00		10:00		10:10		11:30		13:00		16:20		18:00		20:00	
3/14(土)			オープニング セッション		記念講演			研究発表					懇親会		

9:00		10:00		11:30		13:00		14:00		14:15		15:15		15:30	
3/15(日)			理事会企画シンポジウム					教育講演①			教育講演②		クロージング セッション		閉会

会場アクセス

会場：西南女学院大学（6号館）〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀 1-3-5



JR・バス利用

西鉄バス 時刻・運賃検索 ⇒



JR 小倉駅南口 下車

- ▶ 西鉄バス「小倉駅バスセンター2 番のりば」から 25・27・28 番系統 乗車
(清水経由約 30 分)

JR 南小倉駅 下車

- ▶ 西鉄バス「南小倉駅前」から 25・27・28 番系統 乗車(清水経由約 10 分)

JR 戸畑駅南口 下車

- ▶ 西鉄バス「戸畑駅」から 11・25・27・28・32・63・83 番系統 乗車
(一枝経由約 20 分)

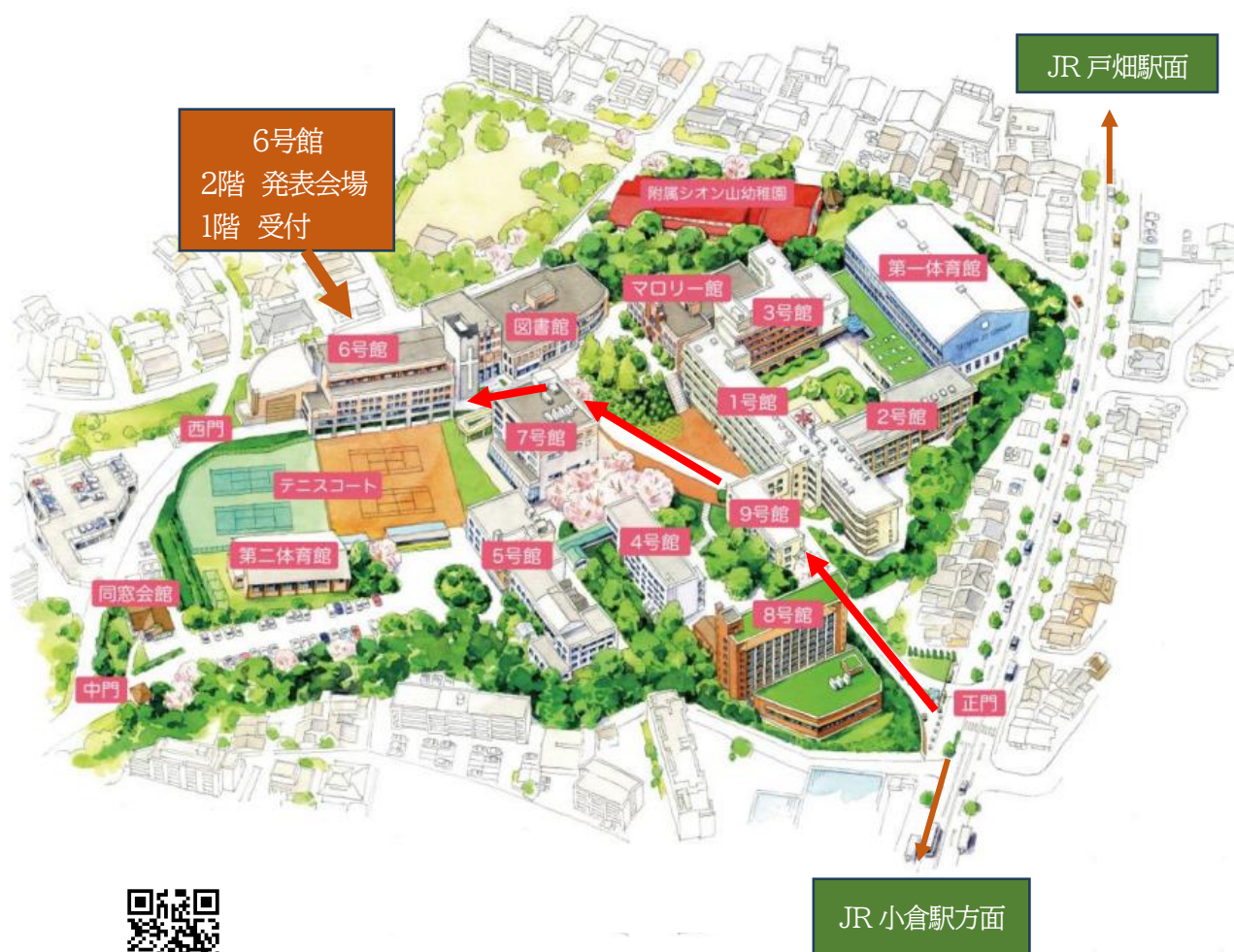
タクシー利用

- JR 小倉駅 から約 20 分(1,500 円程度)
- JR 南小倉駅 から約 15 分(1,400 円程度)
- JR 戸畑駅 から約 7 分(900 円程度)

飛行機利用

北九州空港 ⇄ 小倉駅バスセンター
エアポートバス(約 40～60 分)

【構内順路】



西南女学院大学ホームページ

大会参加者の皆様へ

1. 参加登録・諸費用

- 本大会への参加は、すべて事前登録制となっています。3月11日（水）17時までに下記 Peatix 申込サイトあるいは QR コードより、申込みおよび参加費の納入をお願いいたします。（研究発表・懇親会参加の申し込みは終了しています）



<https://sm01.peatix.com/>

		前期 (8/1 ~ 11/30)	後期 (~3/11)	
大会参加費	一般	4,000円	5,000円	会員・非会員の別はありません。
	大学院生・学部生・ 研究生・専攻科生等 (18歳以上)	2,000円	2,500円	
研究発表費		2,000円	-	研究発表者（筆頭者）は、大会参加費とは別に必要です。
懇親会参加費		5,000円	-	会場の都合上、定員を超過次第、受付を締め切らせていただく可能性があります。 参加を希望する方は、お早めにお申し込みください。

2. 受付

- 6号館1階ロビーにて行います。
- 名札、ネームホルダー、発表論文集をお渡しします。名札は会期中必ず着用してください。

3. クローク

- 6号館2階に開設します（利用教室・時間等は「発表論文集」でお知らせします）。

4. 昼食

- 会場周辺にはコンビニ・スーパー・飲食店がありますが、数が少なく徒歩5～15分かかります。
- お弁当を予約販売する予定です。詳細はHP、Peatixにてお知らせします。
- 昼食場所として6号館2階の教室（休憩室）をご用意します。他にロビー、中庭テラス等がご利用いただけます。
- 会場内にゴミ箱を設置しておりません。予約販売の弁当箱を除くゴミは各自お持ち帰りください。

5. 駐車場・タクシー利用

- 両日とも学内への自家用車の乗り入れはできません。公共交通機関をご利用いただくか、近隣の有料駐車場をご利用いただくようお願いいたします。
- タクシーにて正門から入っていただくと、会場がある棟まで乗り入れ可能です。西門や中門に到着された場合は、門の手前にて下車ください。

6. その他

- 会場校(西南女学院大学)への直接のお問い合わせはご遠慮ください。各種お問い合わせは、実行委員会事務局までお願いいたします。
- 会場の西南女学院大学のキャンパスは、正門から入るとすぐに急な坂道があります。キャリーケースの持ち運びなどは十分にご注意ください。
- 会場内での写真・ビデオ撮影、講演音声の録音は固くお断りいたします。携帯電話は電源を切るかマナーモードにし、呼び出し音やアラームなどはお控えください。

- 懇親会は14日（土）18時から、「八雲亭 小倉」（北九州市小倉北区鍛冶町1 - 4 - 3 2F：JR小倉駅徒歩4分）で行います。詳細は申込まれた方に別途ご連絡します（申込は終了しています）。

口頭発表登壇者の皆様へ

1. 発表受付

- 発表者は、機材の動作確認をしたうえで、12時50分までに発表会場入口付近にいるスタッフに出席をお知らせください。時間までに受付されない場合、発表取り消しとなる場合があります。
- 機材の動作確認は、12時から12時50分まで可能です。

2. 発表時間

- 発表時間は1発表につき25分で、口頭による発表が15分、質疑応答の時間が10分です。すべて満たした場合、発表とみなされます。
- 進行係が、開始から12分、15分、25分に鈴を鳴らし、時間経過をお知らせします。

3. 発表の方法・発表用機器

- 発表に際して、会場に設置してあるプロジェクタ、スクリーン、スピーカーが使用可能です。
- ご自身のPCやタブレット等をご持参ください。
- 会場のプロジェクタ入力端子はHDMIケーブルのみです。ご自身のPC等をご確認いただき、HDMIとの変換ケーブルやアダプターをご持参ください。

4. 発表者の交代

- 筆頭発表者が欠席した場合は、発表取り消しとなります。ただし、大会本部に申し出た場合、連名発表者による代理発表を認めます。連名発表者以外の発表は認めません。
- 代理発表となった場合、発表論文集の筆頭演者の名前は修正できません。

5. 資料の配布

- 補足資料を配布される方は、事前に発表者が必要部数を用意し、セッション開始前に会場スタッフにお渡しください。

【座長の方へ】

- ※ 座長の方は司会・進行をお願いいたします。特に制限時間を厳守するようにお願いいたします。
- ※ 質疑応答の際には、フロアの参加者に対して可能な限り氏名・所属を明らかにして質問をするように促してください。
- ※ 時間に余裕がある場合は、発表について座長の方からコメントをお願いいたします。

大会プログラム

記念講演

2026 年 3 月 14 日（土） 10:10～11:30

6 号館 2 階 大講義室（6 2 0 6 教室）

司会 園山 繁樹（日本場面緘黙研究会会長／
西南女学院大学）

場面緘黙がある子への医療現場での支援—現状と課題

講 師 金原 洋治（かねはら小児科 院長）

理事会企画シンポジウム

2026 年 3 月 15 日（日）10:00～11:30

6 号館 2 階 大講義室（6 2 0 6 教室）

場面緘黙のための行動分析学実践

企 画 日本場面緘黙研究会理事会

司 会 笹田 夕美子（さやか星小学校）

話題提供 奥田 健次（日本場面緘黙研究会副会長／学校法人西軽井沢学園）

場面緘黙児への介入を支えるために保護者の理解と協力をどのように引き出すか

井森 萌子（REON カウンセリング・ウェルネス高井クリニック）

場面緘黙症の幼児に対して「定型質問」を用いた介入

仁藤 二郎（REON カウンセリング・ウェルネス高井クリニック）

中学以降の場面緘黙症へのアプローチ：超スモールステップによる介入事例

指定討論 奥田 健次（日本場面緘黙研究会副会長／学校法人西軽井沢学園）

教育講演

【教育講演①】

2026 年 3 月 15 日（日）13:00～14:00

6 号館 2 階 大講義室（6 2 0 6 教室）

司会 松下 浩之（山梨大学）

場面緘黙症状をもつ子どものアセスメントと支援
～家庭から社会的場面、そして学校へ～

講 師 角田 圭子（かんもくネット 代表）

【教育講演②】

2026 年 3 月 15 日（日）14:15～15:15

6 号館 2 階 大講義室（6 2 0 6 教室）

司会 松下 浩之（山梨大学）

場面緘黙のある子どもの支援のアイデア
～自著プラスアルファ～

講 師 園山 繁樹（西南女学院大学）

研究発表（口頭発表）

2026 年 3 月 14 日（土）13:00～16:20

6 号館 2 階 大講義室（6 2 0 6 教室）

座長 梶 正義（関西国際大学）

- | | |
|--|--|
| 1 場面緘黙に関する保育士の認識
—愛知県内の公立保育所および病院所属の保育士の質問紙
調査（第1報）— | 岡田 摩理（日本赤十字豊田看護大学）
角田 圭子（かんもくネット）
神道 那実（日本赤十字豊田看護大学）
飯田 大輔（日本赤十字豊田看護大学）
河野 由理（日本赤十字豊田看護大学） |
| 2 場面緘黙に関する保育士の支援経験と困り事
—愛知県内の公立保育所および病院所属の保育士の質問紙
調査（第2報）— | 角田 圭子（かんもくネット）
岡田 摩理（日本赤十字豊田看護大学）
神道 那実（日本赤十字豊田看護大学）
飯田 大輔（日本赤十字豊田看護大学）
河野 由理（日本赤十字豊田看護大学） |

座長 広瀬 慎一（かんもくグループ北海道）

- | | |
|---|--|
| 3 我が国における場面緘黙のある子ども・成人への「興味・
関心に基づく支援」に関する統合的レビュー | 大志田美智子（かんもく自助グループ「言の葉の会」）
宮本 昌子（筑波大学人間系） |
| 4 場面緘黙児の学習機会を保障する博物館の活用可能性
—ワークショップと事前支援を組み合わせた実践報告— | 辻田 那月（大阪大学学際大学院機構/大阪大学 CO デザインセンター）
山中 智央（島根大学教育研究推進学系障がい学生支援室）
高田 佳奈（大阪大学 CO デザインセンター）
藤間友里亜（同志社大学研究開発推進機構）
横山 拓真（大阪大学 CO デザインセンター）
花井 智也（大阪大学学際大学院機構） |
| 5 場面緘黙児とその保護者を対象としたオンライングループ
三段階支援の縦断的改善プロセス
—心理教育・コミュニケーション訓練・段階的暴露による
発話促進プロセスの検討— | 中之園はるな（メンタルケア心安/熊本心身医療クリニック） |

座長 佐々木 祥乃（東京科学大学）

- | | |
|---|---|
| 6 就学前の場面緘黙症児に対するグループセラピーの試み | 江口奈央（福岡市立心身障がい福祉センター）
楠本ひろみ（福岡市立心身障がい福祉センター）
西山春菜（福岡市立南部療育センター） |
| 7 場面緘黙児に対する遊びを通した随伴性マネジメント
—家庭・幼稚園・クリニックでの発話支援— | 河野里沙（あおさきこども心療所）
川本明子（あおさきこども心療所）
梶梅あい子（あおさきこども心療所） |
| 8 ASD の併存と不登校を示す場面緘黙児に対する
機能に応じた包括的支援
—保護者へのコンサルテーションによる段階的エクスポー
ジャー法を基盤として— | 奥村真衣子（信州大学学術研究院教育学系） |

日本場面緘黙研究会第1回研究大会

賛助団体ご芳名

(敬称略・順不同)

協賛

山口大学医学部小児科同門会

山口県小児科医会

下関市小児科医会

西南女学院大学

後援

福岡県 山口県 北九州市 下関市 福岡県教育委員会 山口県教育委員会

下関市教育委員会 福岡県小児科医会 福岡県保育協会保育士会

北九州市保育士会 北九州地区小児科医会 山口県医師会 山口県保育協会

山口県公認心理師協会 下関市医師会 下関市私立保育連盟

本大会を開催するにあたり、上記の団体より多大なご支援をいただきました。

ここにご芳名を記し、感謝の意を表します。

日本場面緘黙研究会第1回研究大会 共同実行委員長

園山 繁樹 (西南女学院大学教授)

金原 洋治 (かねはら小児科院長)

日本場面緘黙研究会第1回研究大会

大会実行委員会

共同委員長	園山 繁樹（西南女学院大学）
	金原 洋治（かねはら小児科）
事務局長	松下 浩之（山梨大学）
委員	奥田 健次（西軽井沢学園）
	笹田夕美子（さやか星小学校）
	仁藤 二郎（REON カウンセリング・ ウェルネス高井クリニック）

運営スタッフ

西南女学院大学保健福祉学部福祉学科教員・学生の皆様にご協力いただきました。

教員：金谷めぐみ 文屋典子

学生：尾家朱厘 道中真沙希 石原咲花 小宮美咲 堤柚菜
西原菜南美 宮崎結 末次杏樹 釣船穂香 中野未空

日本場面緘黙研究会 役員

会長

園山繁樹（西南女学院大学 教授）

副会長

奥田健次（学校法人西軽井沢学園 理事長）

理事

青木路人（言の葉の会 副代表）

岡田摩理（日本赤十字豊田看護大学 教授）

奥村真衣子（信州大学 助教）〔事務局長・会計担当〕

角田圭子（かんもくネット 代表）

梶正義（関西国際大学 教授）

金原洋治（かねはら小児科 院長）

公文匠（静岡場面かんもくの会 代表）

佐々木祥乃（東京科学大学大学院医歯学総合研究科 精神行動医科学分野 助教）

笹田夕美子（行動コーチングアカデミー・公認心理師・さやか星小学校）

辻田那月（大阪大学 特任助教）

成瀬智仁（大阪府・滋賀県スクールカウンセラー）

仁藤二郎（REON カウンセリング 代表）

久田信行（群馬医療福祉大学 特任教授）

広瀬慎一（かんもくグループ北海道 代表）

藤田継道（兵庫教育大学 名誉教授）

松下浩之（山梨大学 准教授）

宮本昌子（筑波大学 教授）

若山恵（つぼみの会（関東親の会））

監事

高橋幸広（ほうざん社会福祉士事務所）

日本場面緘黙研究会第1回研究大会プログラム

発 行 日	2026 年 1 月 31 日
発 行 者	日本場面緘黙研究会第1回研究大会実行委員会
委 員 長	園山 繁樹・金原 洋治

幼稚園や学校で話せない子どものための 場面緘黙支援入門



園山繁樹【著】

四六判●定価 1760 円（税込）

著者の実践や研究成果そして内外の研究成果を交えながら、場面緘黙の子どもたちが経験する「困った場面」の解消方法や、「話せる」に向けた具体的な支援を紹介する。

かんもくの声



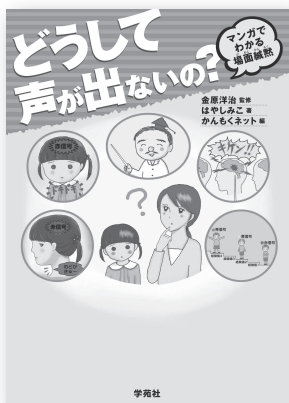
入江紗代【著】

四六判●定価 1760 円（税込）

誰にも話せなかった場面緘黙の悩み。同じ悩みをもつ人へ「あなたは孤独ではない」と語りかける。「声にならない声を伝える」1冊。

どうして声が出ないの？

マンガでわかる場面緘黙



金原洋治【監修】
はやしみこ【著】
かんもくネット【編】

A5 判●定価 1650 円（税込）

「なぜ声が出ないのか、どうすればよいのか」を具体的にわかりやすくマンガで説明。子どもでも理解できる適切な対応の手引き書。

なっちゃんの声

学校で話せない子どもたちの理解のために



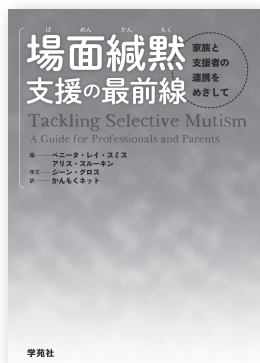
はやしみこ【ぶんとい】
金原洋治【医学解説】
かんもくネット【監修】

B5 判●定価 1760 円（税込）

本編 21 ページ＋本書を手にしたあなたへ＋クラスのみなさんへ＋医学解説 5 ページの構成。子どもたちの素朴な疑問にやさしく答える絵本。

場面緘黙支援の最前線

家族と支援者の連携をめざして

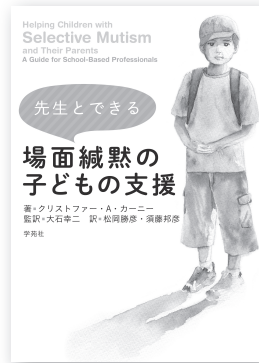


ベニータ・レイ・スミス／
アリス・スルーキン【編】
かんもくネット【訳】

A5 判●定価 3960 円（税込）

場面緘黙の海外研究を踏まえ、最も効果的な支援の方向性を示す。様々な専門領域による支援法の研究、そして連携の重要性を解く。

先生とできる 場面緘黙の子どもの支援



クリストファー・A・カーニー【著】
大石幸二【監訳】
松岡勝彦・須藤邦彦【訳】

A5 判●定価 2420 円（税込）

学校で話せず、不安な思いをしている子どもに対して先生ができることは何か。行動理論に基づいた様々な解決方法を紹介する。



特別支援教育図書
学苑社

Tel 03-3263-3817
Fax 03-3263-2410

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-10-2

E-mail: info@gakusha.co.jp <https://www.gakusha.co.jp/>

